

矢部高校通信

文責：校長

「矢部高校通信」をはじめます

今年度「自ら気づき 考え 行動する」という教育スローガンのもと、主体性や自らを律する力を身に付ける教育を推進してまいります。その教育活動において、日頃の学校での生徒や職員の取組、学習の様子など、何気ない風景を切り取り、矢部高校通信として伝えていきたいと考えていますので、よろしくお願ひいたします。月1程度の不定期です。

大雨で休校



7月3日の大雨では、コミュニティバスも運休となり2日間の休校としました。益城町も大きな被害が出ましたが、山都町も田畠を中心に大きな被害が出ています。学校の周辺も浸水被害を受けられたご家庭もありました。幸いなことに生徒や各ご家庭に被害の報告はなく、学校の被害もありませんでした。

期末考査を含む日程変更や連絡の遅延等、ご迷惑をお掛けしました。何が起きるか分からぬ昨今、早めの情報提供や判断を心がけます。

1年生「総合的な探究の時間」



1年生の全学科を対象に行っていきます。本校では「通潤魂」の時間と呼んでいます。この時間は、横断的・総合的な学習をとおして、自己の在り方生き方を考えながら課題解決力を育みます。町の支援によりNPOの協力のもと実施していますが、この日は、熊本県立大学の丸山教授や大学生との交流をとおして、町の課題発見と今後の計画を立てていました。こういう形での高大連携も行っています。

生徒総会 & 役員改選



3年生の生徒会執行部の最後の行事となります生徒総会が行われ、この1年間の行事や各委員会からの報告がありました。また、2年生を中心とする新役員の選出が行われ、候補者は、矢部高校をどういう学校にしたいのか熱く語ってくれました。その結果、会長、副会長をはじめ7人が選出されました。投票はタブレットを使った電子投票で行いました。3年生は、いよいよ進路に向かって一直線です。

公開授業



2日間行いました。保護者の皆様や中学校の先生方にも来ていただきました。幅広くいろんな授業を見ていただくことが本校の教育を理解していただくことに繋がります。写真は、「ファッション造形」での製作、「農業と環境」で栽培しているエダマメ、「農業と情報」です。次回もよろしくお願いします。

やまと仕事STORE



山都町には、いろんな方が働いておられます。卒業後ずっと…、一度県外に出て戻ったなど…。ここで働くことの意味や思いを伝えていただきました。いろんな職種や思いがあることを生徒に伝えたいと山都町の企画で全校生徒対象に実施されました。生徒たちも参加者の思いに触れ、前のめりに聞き入っていました。若い人も頑張っていて、素晴らしい町だと感じました。高校生にとって、自分の人生を考える上で貴重な経験となったと思います。この取り組みは、熊日新聞でも取り上げていただきました。「来年はうちも声をかけてほしい」という声が役場に寄せられたそうです。

生徒会役員任命式



生徒会役員の任命式を校長室で行い、その後、新役員と校長との意見交換を行いました。今の矢部高校について思うことや改善したいと考えていることなどを聴きましたが、各々、自分の考えをしっかりと伝えてくれました。中でも、佐伯会長の「矢部高校での生活は、こんなに幸せで良いのかを感じている」という言葉に驚きました。これから生徒会の活動が楽しみになりました。